

「ミッション・スクール生」として

みなさんおはようございます。先週は、みなさんのご協力とお祈りのおかげで今年度の学園記念日を終わることができました。この場をかりてお礼を申し上げます。ありがとうございました。みなさんからの感想用紙を少しばかり読んでみたのですが、それぞれが思い思いの学園記念日を過ごしてくれたことが伝わってきて嬉しかったです。ぜひ、学園記念日を通して感じ取ったことを大切にしてこれからの学園生活を歩んでいってもらえればと思います。

さて、今朝は、学園記念日の続きではないですが、この学校に在籍するみなさんが、「白百合生」としてどのように過ごしてもらいたいとかというお話したいと思います。本校は世間一般からはカトリック系の‘mission school’といわれています。ところで、mission school の‘mission’とはどのような意味でしょうか。少し考えてみてください。辞書で調べてみると「任務」、「役目」、「使命」という言葉がでてきますが、ここでは「使命」という言葉を使いたいと思います。つまり直訳すると「使命のある学校」という意味になります。白百合の使命とはなんのでしょうか。私は2つのことがあると思います。一つはキリスト教の価値観やメッセージをみなさんに伝えることにあります。そのため、宗教の時間や宗教行事、ほかの授業中にいろいろな先生方からキリスト教にまつわる話を聞くことになると思います。もう一つは「使命」を漢字で書くと、「使う命」、「命の使い道」という意味になります。つまり、キリスト教の価値観と世間一般の価値観を照らし合わせながら、自分はこの先どのように生きていくかということを考えてもらう事になります。与えられているいのちの使い方を考えるということになります。「生き方を考える」というと難しく聞こえるかもしれませんが、生きている以上、人生について考えてもよいことだと思います。今朝は少し自分の生き方について黙想してみましよう。みなさんはどのように生きていきたいですか。

「友人や家族に囲まれて笑顔あふれる人生を送りたい」「社会人としてバリバリ活躍したい」とか「夢を実現させたい」「人のために役立つ仕事をしたい」とか様々な想いはあるでしょう。今朝、私がみなさんに伝えたいことは、「周りの人々との関係の中で灯りをともす人」になってもらいたいということです。「心のともしび」というラジオ番組があるのですが、その中で毎回必ず、次ナレーションが流れます。「くらい、くらいと不平をいうよりも進んで明かりをつけましよう。」私たちは様々な人や出来事に遭遇して生活しています。人生の中でいい出会いや出来事を経験することもあれば、理解できない相手との出会いや納得できない出来事を経験することもあるでしょう。後者の状況に置かれた場合、ついつい悪口や不平ばかりいって相手をけなしてしまうことがあります。少し自分の生活を振り返ってみて一日どれくらい不平不満、もしくは、人の悪口をいっているでしょうか。確かに生きていれば、愚痴の一つもでてくるときもあれば、人の悪口や不平不満を言いたくなるときもあるでしょう。愚痴や不平不満をいうなどはいけません。言いたいときには時と場所を考えながら吐き出すのが一番です。ただ、そこにとどまって誰かと悪口や不平不満、誰かを貶める発言ばかりいいあっているのは周りを不快な気持ちにさせ、自分にとってマイナスのものしか生み出しません、悪口ばかり言っている自分が虚しくなるばかりです。みなさんにはそこから一歩抜け出す人になってもらいたいと思います。自分にとってあまり好ましくない状況に陥ったとしても、状況を変える力を人間は持っていると思います。思いや言葉、行動、心がけ一つで相手や状況をよい方向に変える力があると思うのです、もし、不平不満を一つ言ってしまったら、その分一つその人のために、なにかできることを行うとうことでもよいでしょう。

ほんの少しずつで構いませんので、今日から暗い状況の中でも、不平不満ばかり言うより進んで明かりをともしせる人になってもらいたいと思います。これで朝のお話を終わります。